

下記の通り、記載内容に一部誤りがありましたので訂正いたします。

訂正・追加箇所	誤	正
p. 96 「② 系統」の項、 上から13行目	「近交系間で交配した <u>CDF1</u> 、 <u>BDF1</u> 、B6C3F1 など～」	「近交系間で交配した <u>CD2F1</u> 、 <u>B6D2F1</u> 、B6C3F1 など～」

p. 147

「表 7-1 ネコの人獣共通感染症」

(誤)

表 7-1 ネコの人獣共通感染症

分類	病名	病原体名	症状	
			ネコ	ヒト
細菌性疾患	ネコひっかき病	<i>Bartonella henselae</i>	ほとんど無症状	咬まれたり、 引っ掻かれた部位の発赤
	パスツレラ症	<i>Pasteurella multocida</i>	ほとんど無症状	隆起、化膿性痂皮、 リンパ節腫大
	皮膚糸状菌症	<i>Microsporum canis</i> など	鱗屑、発赤・発疹、円形脱毛	鱗屑、発疹、痒み、白癬疹
寄生虫性疾患	トキソプラズマ病	<i>Toxoplasma gondii</i>	幼猫：下痢、神経症状、肺炎 成猫：ほとんど無症状	妊婦が初感染を受けた場合、 先天性トキソプラズマ症状 (胎内死亡、流産、網脈絡膜炎、 水頭症など)の発症
	回虫症	<i>Toxocara cati</i>	幼猫：嘔吐・下痢、被毛粗造、 体重低下 成猫：ほとんど無症状	内臓幼虫移行症、 眼幼虫移行症
	疥癬症	<i>Notoedres cati</i>	黒い耳垢、激しい痒み、 皮膚炎	皮疹、痒み、皮膚炎



(正: 訂正部位赤字)

表 7-1 ネコの人獣共通感染症

分類	病名	病原体名	症状	
			ネコ	ヒト
細菌性疾患	ネコひっかき病	<i>Bartonella henselae</i>	ほとんど無症状	咬まれたり、 引っ掻かれた部位の発赤
	パスツレラ症	<i>Pasteurella multocida</i>	ほとんど無症状	隆起、化膿性痂皮、 リンパ節腫大
真菌性疾患	皮膚糸状菌症	<i>Microsporum canis</i> など	鱗屑、発赤・発疹、円形脱毛	鱗屑、発疹、痒み、白癬疹
寄生虫性疾患	トキソプラズマ病	<i>Toxoplasma gondii</i>	幼猫：下痢、神経症状、肺炎 成猫：ほとんど無症状	妊婦が初感染を受けた場合、 先天性トキソプラズマ症状 (胎内死亡、流産、網脈絡膜炎、 水頭症など)の発症
	回虫症	<i>Toxocara cati</i>	幼猫：嘔吐・下痢、被毛粗造、 体重低下 成猫：ほとんど無症状	内臓幼虫移行症、 眼幼虫移行症
	疥癬症	<i>Notoedres cati</i>	黒い耳垢、激しい痒み、 皮膚炎	皮疹、痒み、皮膚炎

(次頁に続く)

訂正・追加箇所	誤	正
p. 150 「4. 麻酔法」の 項、上から3～4行 目（一部削除）	「ネコの全身麻酔に汎用される注 射麻酔薬にはチオペンタールナト リウム、塩酸ケタミン、 <u>メデトミ ジン、ミダゾラム、プロポフォー ル</u> 等がある。」	「ネコの全身麻酔に汎用される注 射麻酔薬にはチオペンタールナト リウム、塩酸ケタミン、プロポフ オール等がある。」
p. 150 表 7-3 ネコの主な 注射麻酔薬の脚注 （スペルミス）	「Laboratory Animal Anaesthesia 4th ed., P. <u>Fleckell</u> , 2016 の Table 5.15 から一部抜粋して掲 載」	「Laboratory Animal Anaesthesia 4th ed., P. <u>Flecknell</u> , 2016 の Table 5.15 から一部抜粋して掲 載」
p. 169 「8. 健康管理、(2) 感染症」の項、上 から1行目	「主な感染症を <u>右欄</u> に示す。」	「主な感染症を <u>次頁右欄</u> に示 す。」

2023/02